

## 事例 3 9 適正量引抜きによる水質改善事例

### 1. 基本情報および一年間の測定結果

処理方式	性能評価型 窒素除去型	作業予定月	
メーカー／型式	フジクリーン工業(株)／CE型	保守点検	2・6・10月
人槽／使用人員	5人槽／3人使用	清掃	8月
日平均汚水量	0.55m <sup>3</sup> /日	法定検査	4月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		処理水槽 (cm)	
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚
清掃 平成25年8月(全量)	50	/	7.0	22	7	5	/	0	/	/
保守 平成25年10月8日	<u>23</u>	6.6	7.5	<u>16</u>	<u>0</u>	<u>5</u>	0	<u>0</u>	0	0
保守 平成26年2月19日	50	7.6	7.5	47	0	10	0	1	0	10
法定 平成26年4月11日	<u>22</u>	7.6	7.5	20	1	30	0	10	0	12
保守 平成26年6月16日	50	6.3	7.0	50	6	25	0	15	0	15
清掃 平成26年8月(適正量)	50	7.4	6.9	50	7	20	0	5	0	3

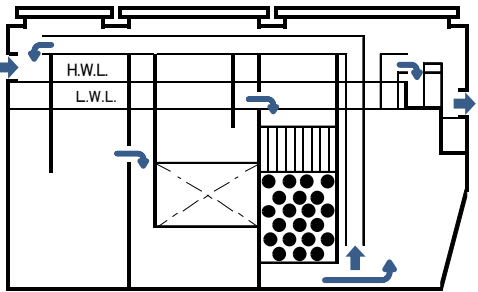
#### ① 適正量引抜き後の測定結果

保守 平成26年10月30日	<u>50</u>	7.5	7.3	<u>35</u>	<u>3</u>	<u>1</u>	0	<u>0</u>	0	0
保守 平成27年2月4日	50	8.0	7.7	49	3	10	0	0	0	0



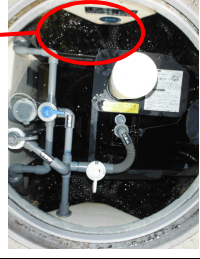


#### ② 各室の有効容量と引抜き結果

	有効容量(m <sup>3</sup> )	引抜き量(m <sup>3</sup> )	搬出量(m <sup>3</sup> )	1室へ移送した水量(m <sup>3</sup> )
1次処理 1室	0.749	全量	全量	/
1次処理 2室	0.751			
2次処理	0.380	全量	0.300	0.248
処理水槽	0.168			
消毒槽	0.015	全量	全量	/
合計	2.063	全量	<u>1.815</u>	<u>0.248</u>
使用車両	バキューム車2台		バキューム車1台は移送水専用	


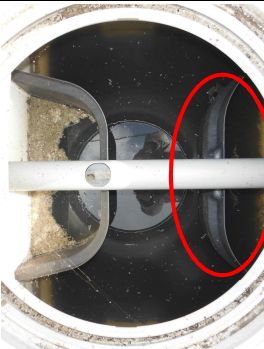
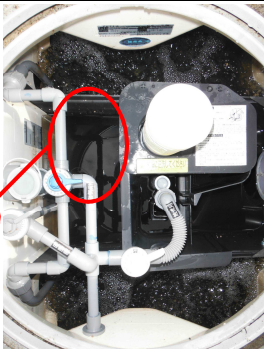



### 2. 浄化槽の概要図と清掃時の設定状況

概要図	清掃時の設定状況		
	清掃作業 前	清掃作業 後	
 <p> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> ろ材                       <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">     </span> 接触材                       <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">●●●</span> 円筒ろ材                 </p>	循環水量 L.W.L.時	0.5L/分	0.5L/分
	放流バルブ	40%	90%
	浄化槽の特徴		
1次処理1室:ろ材無し   2室:骨格様球状ろ材			
2次処理:上部板状・下部へチマ様円筒ろ材			
2次処理:自動逆洗装置無し			

### 3. 清掃時の槽内状況(平成26年8月7日)

	1次処理1室	1次処理2室	2次処理/処理水槽	
流入				放流
	①DO7.4 mg/L 高い 生物膜少ない	2次処理槽内水透視度 50度		
				

### 4. 清掃2か月後、保守点検時の槽内状況(平成26年10月30日)

	1次処理1室	1次処理2室	2次処理/処理水槽	
流入				放流
	1次処理2室 流出水	2次処理の状況	処理水槽の状況	
				
	②2室流出水透視度 35度	2次処理槽内水透視度 50度 攪拌水流を弱めた効果あり	③放流水透視度 50度 スカム厚、堆積汚泥厚 0cm	

### 5. 作業及び調整内容

清掃 8/7	逆洗と併せ強制攪拌10分実施後、バキューム車で上澄水1/2を1次処理1室張り水に使用 生物膜が少ない事から放流バルブ40%→90%に変更し攪拌水流を弱める
保守 10/30	2次処理に汚泥が少ない事から循環水量0.5L/分→0.1L/分に変更

### 6. 清掃後の保守点検結果

① 前年1次処理流出水透視度16度→35度、放流水透視度23度→50度に改善(26年10月30日)
② 前年1次処理1室スカム厚0cm→3cm増加、堆積汚泥厚5cm→1cmに減少
③ 前年1次処理2室堆積汚泥厚0cm→0cm